



今回のトピック

インファロー技術

インファローとは、北海道でよく使用されているポテトプランターの構造に合わせて専用の農薬散布ノズルを取り付け、ばれいしょの植え付けと同時に薬剤を散布して病害虫を防除する技術です。散布範囲が植溝内に限られるため、少ない散布量で防除効果を得られるのが特長です。

ばれいしょの「黒あざ病」は、土壤中のリゾクトニア菌や、菌に罹病した種イモなどによって引き起こされる重要病害です。くずイモや緑化イモが増え、収量や品質が低下するため、防除が不可欠な重要病害ですが、土壤中の菌による罹病も多いことから、種イモ消毒だけでは防除しきれないのが現状です。そこで注目を集めているのが、「インファロー技術」（植付時植溝内土壤散布）です。土壤消毒により、ばれいしょの黒あざ病を予防することができます。欧米ではすでに一般に普及しており、ばれいしょの塊茎の大きさの均一化や品質向上により規格内収量の向上が期待できます。



後方ノズル



前方ノズル



▲上:アミスター20フロアブルを使用、下:慣行栽培

関連商品



インファロー技術で黒あざ病を防除するなら……

アミスター20フロアブル

アミスター20フロアブルの登録に関する詳細は、シンジェンタ ジャパンのWebサイトにご確認ください。 <http://www.syngenta.co.jp/>

適用作物	適用病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
ばれいしょ	黒あざ病	100～200倍	20L/10a	植付時	1回	植溝内土壤散布